

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 6 回 定例委員会
日 時	平成22年4月22日 自 14時58分 至 16時09分
場 所	苫小牧市役所第2庁舎1階会議室
出 席 委 員	委 員 長 吉 本 俊 憲 委 員 鈴 木 正 樹 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 佐 藤 守 委 員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	鈴 木 正 樹 委 員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 近江谷 健
事 務 局 職 員	学 校 教 育 部 長 須 藤 孝 生 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 長 小 野 寺 徹 示 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 ス ポ ー ツ 生 涯 学 習 部 次 長 鹿 野 定 幸 総 務 企 画 課 長 戸 村 眞 規 総 務 企 画 課 総 務 係 主 査 三 橋 大 輔 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 平 田 拓 也 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 近 江 谷 健
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …14時58分
2	会議録署名委員の指名（鈴木委員）
3	報 告（教 育 長）
	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度を迎えて3週間が経過した。この間を振り返ると、4月1日に錦岡児童センターがオープン、7～8日にかけて小中学校の入学式及び始業式が挙行、9日に行われた第1回定例校長会議においては、委員各位に出席いただき感謝申し上げます。12日には、拓勇小学校に特別支援教室わかば学級が開級、20日には全国学力学習状況調査が無事終了した。昨日、21日には長生大学の入学式が行われ、勇払中学校は飛行機で修学旅行に出発した。本日は弥生中学校も出発しており、いよいよ中学校は修学旅行シーズンに入った。 ・市教委関係の人事異動について報告したい。4月1日付けで管理職、20日付けで一般職の人事異動があり、学校では校長、教頭、一般教諭の人事異動があった。新採用教員は昨年より大きく減少し、期限付き教諭の採用が多くなっている。 ・4月8日に管内の教育長会議が開催された。胆振教育局の主催で、局長から22年度教育行政執行方針の説明があった。テーマは「未来につながる胆振教育の実現」ということで、「新たな学校作りの推進」「子供の可能性を開花させる教育の推進」「豊かな学びの環境作り」が執行方針の柱となっている。次に、胆振教育局の学校教育課が教育支援課に名称変更したことにより、教育支援課長より今後の取り組みについて説明があり、国旗国歌の実態調査、学力学習状況調査、体力運動能力調査のこれからの動向、教科書採択、フッ素化合物洗口普及事業の促進について説明があった。フッ素化合物の洗口については、本市では実施していないが、胆振管内の2つの町を指定し先行実施するとのこと。次に、胆振東地区の高等学校配置計画の説明があり、4月23日に市民会館で説明会が開催される予定だが、平成25～28年にかけて本市の中学生が大きく減少する見込みで、2～3学級が削減対象になるとのことであった。

引き続き、教育長協議会が開催された。洞爺湖町の教育長が町長選挙に出馬し当選したため、今後、協議会の新しいメンバーも決まってくるだろう。話題となっている教職員の政治的行為の禁止に関する実態調査についての説明があった。サービスの規律を再度見直すため、今後、各学校の調査が開始される。微妙な内容も含まれており、慎重な対応が求められるということを、本日行われた校長会議で説明したところである。
・今後の予定としては、4月27日に氷上の甲子園の実行委員会が開かれ、5月18日には、苫小牧ゆかりの伊藤多喜男氏が東小学校で教育について講演と語りを行うということで先般挨拶に来られた。また、毎年5月頃までに行っている養護学校設立要望書の提出についても、日程等を検討したいと思っている。
・苫小牧埠頭から、創業50周年の記念として苫小牧の歴史に関する冊子の寄贈があり、全小学校の5年生に配付するとのこと。素晴らしい本なので皆さんにも是非一読願いたい。
(吉本委員長) 教育長報告に関連して質問があればお受けしたい。
(一同「なし」の声)
4 議案審議
議案第1号 苫小牧市立学校職員の評価に関する要綱の一部改正について
(学校教育部長)
・苫小牧市立学校職員の評価に関する要綱の一部改正について、説明させていただく。改正の内容は、施行期日を定めるというものである。栄養教諭及び共同調理場に勤務する学校栄養職員については、学校職員の評価に関する要綱決定時において、評価の日を別に定めることとしており、今回、北海道教育委員会において平成22年4月よ

り評価を行うこととなったため、本市においても北海道と同様に平成22年4月22
日から施行するために要綱の一部を改正するもの。(以降、議案第1号資料について説
明)
(吉本委員長) 本件について質問をお受けする。
(佐藤守委員) 栄養教諭は各学校に配置されているのか。
(学校教育部長) 各学校には配置されていない。北海道の職員である学校栄養職員が、
第1給食センターに3名、第2給食センターに2名おり、学校栄養職
員は栄養教諭の免許を有している。学校で栄養教育を行うために調理
場業務との調整を図っているところであり、学校栄養教育に対する評
価の体制を整えたいと思っている。
(吉本委員長) 栄養教諭と栄養職員に資格の差があると思うが、業務内容に違いはあ
るのか。
(学校教育部長) 現在は、給食センターの栄養士として勤務していただいているが、栄
養教諭の免許を所持しており、今後は栄養教諭としての位置付けを明
確にしていかなければならないと考えている。
(吉本委員長) 他に質問がなければ、議案第1号を承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
—原案どおり承認—
議案第2号 苫小牧市美術館の基本的な考え方(案)について
(スポーツ生涯学習部長)
・苫小牧市美術館の基本的な考え方(案)について、説明させていただく。(以降、議

案第2号資料苦小牧市の美術館に関する基本的な考え方の概略読み上げ) 詳しい内容
については、次長より説明を行う。
(スポーツ生涯学習部次長)
・内容の詳細について、説明させていただく。(以降、議案第2号資料「2基本理念」
から説明) 今後の日程については、本日の委員会で承認をいただき、理事者への説明
を行い、6月にかけて各種審議会への諮問、市民フォーラムなど広く市民の意見を求
めたいと考えている。
(吉本委員長) 本市の長年の懸案事項である美術館設置について、本市の考え方を示
したものである。各委員のご意見を求めたい。
第五次基本計画において既存施設の活用という方向に変わったという
ことだが、独立したものを設置する考えは一切ないのか。
(スポーツ生涯学習部長) 当初は考えていたが、現在の財政状況下では新設の目途が立たないた
め、空調設備が整っている博物館との複合施設として設置する方向で
検討を進めてきた。
(吉本委員長) 美術館の設置ということは、独立したものをイメージすると思うが、
各団体から合意は得ているのか。
(スポーツ生涯学習部長) 美術協会から毎年寄付をいただいております、美術館建設基金を作ってい
るが、利息で数万円増える程度の状況。協会としては、新たな建設に
はこだわらないから早く実現してほしいと伺っている。
(スポーツ生涯学習部次長) 複合施設ということを全面に押し出して説明をしているが、あくまで
美術館と博物館は別の施設と考えており、入り口も分ける方向で考え
ている。
(鈴木委員) 管理費等難しい面もあるが、美術館の件が具体的になってきたのは良
い事だと思う。
(吉本委員長) 設置時期については今の段階でどのように考えているのか。

<p>(スポーツ生涯学習部長) 教育委員会の中で基本方針が決まった後、予算の問題がクリアされれば最終的には理事者の判断になると思う。</p>
<p>(教 育 長) これまで本件に関する要望を受けてきたが、機運が高まっているように感じている。市長にも要望が上がっているだろう。要望が上がっても基本的な考え方が整理されていなかったため、何もできなかったが、基本方針が決まれば一歩前進であると思う。</p>
<p>(佐藤郁委員) 17万都市で美術館がないのは寂しいと感じていた。民間や個人の様々な美術館があるが、教育委員会が係わるのであれば、ただ作品を並べるのではなく、子どもや親子の教育の場とするなど、他都市の美術館と差別化してほしい。また、料金については、ランニングコストの問題もあるので、常設と展示に差を設けるなど維持費の捻出についても精査されるべき。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 経費については、博物館と併設されるということで、独立するよりはかなり抑えられると考えている。教育普及についてもご指摘のとおりで、市民に理解を得られるよう重きをおいていきたい。料金についても常設展と特別展で差を付けることや、料金をいただいても価値のあるものにしたいという思いから無料化はしない方向で考えている。今後、本市の基本理念に近い美術館を視察して特に教育普及事業を研究していきたいと考えている。</p>
<p>(佐藤郁委員) 他都市の美術館を見てきているが、子どもを子供扱いしないということが大切だと思う。子どもに美術館でのマナーを上手に教えるなどの工夫ですばらしいものになる。視察のときにはその辺も学んでほしい。</p>
<p>(佐藤守委員) 老朽化している施設や学校がある中で、優先順位を示さないと市民に納得してもらえないと思う。美術館にどうしても行きたいという子どもは少ないと思うので、まずは安心な学校作りをしてもらいたいという思いはある。その中で美術館を建設する体制が整ったときに、子ども</p>

も達の意見も取り入れて、夢のあるものになればいい。
(吉本委員長) 市が貯蔵してある作品を、例えば公共施設に持ち出して市民の目に触れさせるような、何かいい手法はないものかと思う。
(佐藤守委員) 複合施設ということだと名称はどのように考えているのか。
(スポーツ生涯学習部長) 前述したようにあくまで独立した施設と考えているため、あくまでも苦小牧市の美術館を作るということ。
(吉本委員長) 今後、検討委員会等でいろいろと方向性が決まってくると思うが、委員会でも報告いただきたい。
他に質問がなければ、議案第2号を承認してよろしいか。
(一同「異議なし」の声)
－原案どおり承認－
5 協 議
(1) 中学校の修学旅行の飛行機の利用について
(佐藤守委員)
・中学校の修学旅行で飛行機を使う学校と使わない学校があるが、どのように調整しているのか。
(教 育 長) 交通機関や業者の対応があるため、2～3年前から決定している。今のところ4～5校が飛行機を利用しているが、100名を超えると難しいため、小規模校に限定している。比較的大型の飛行機が運航されている東京への旅行を実施するという話も校長会で話題になったが、

<p>苫小牧にはフェリーがあるので、なるべくそちらを使っていきたいという思いがある。</p>
<p>(佐藤守委員) 校長が飛行機を利用したいと要望するのか。</p>
<p>(教 育 長) あくまでも学校としての判断である。以前は東北地方 1,200 キロまでという制限があったが今はない。しかし経費や日数の問題があるので慎重に対応していかなければならない。</p>
<p>6 その他</p>
<p>(1) 沼ノ端スポーツセンターについて</p>
<p>(スポーツ生涯学習部次長)</p>
<p>・沼ノ端スポーツセンターについて、指定管理者を公募した結果、4社から申し込みがあった。指名に向けて作業を進めており、6月の議会に諮る予定で、スポーツセンター規則の設置に向けて近々パブリックコメントを実施する予定である。</p>
<p>(佐藤守委員) これまでいろいろなパブリックコメントがあったが、意見が非常に少ない。関係団体に積極的に意見を求めるなど、何か方策を考えないと意見が出ないのではないか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 全庁的に問題であると認識している。</p>
<p>(2) 教育委員会の勉強会について</p>
<p>(学校教育部次長)</p>

・佐藤守委員から勉強会の開催について提案があった。内容については、拓勇小学校
独自で行っているメール連絡網システムについてであり、市教委が係わっていないこ
とから、学校側が説明をしてくれるということなので、その機会を設けていただきた
い。40分程度の説明ということなので、次回定例会の開催前に時間をいただきたい。

(吉本委員長) 勉強会を開催するということによろしいか。

(一同「異議なし」の声)

7 委員会閉会の宣言 (吉本委員長) …16時09分